

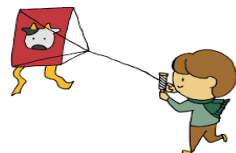


せとまちだより

SETOMACHI-COMMUNITY NO 41

令和 5年 4月26日(水)
瀬戸地域まちづくり協議会
壱岐市芦辺町箱崎大左右触924
080-8574-5853
発行責任者 町田 正一

3年ぶりの凧揚げ大会で賑わいました！



4月16日(日)少式公園で瀬戸浦々会青年部主催の凧揚げ大会が開催されました。3年ぶりということで、瀬戸小学校児童・幼稚園児や保護者の皆さん、そして、何よりもこの日を楽しみにしていた鬼凧クラブの皆さんや凧好きな方々で会場はいっぱいになりました。開始前の雨で始まりが少々遅くなりましたが、青年部長・浦会長・校長先生・教頭先生、そして、壱岐神社の大祭終了後に出席された白川市長さんの挨拶後、小学校1年生から6年生まで、クラス全員で絵を描いた凧が少式の空に舞い上がりました。残念ながら、個人の部27番目位で雨が降り出し、稲光の後、すぐ大きな音のカミナリがなり、ヒョウまで降る悪天候になり、個人の部半分ほどで中止になりました。それまで会場は、瀬戸まちづくり協議会地域づくり部会による「ぜんざいサービス」と子どもたちの「駄菓子つかみ取り」でにぎわいました。また、地域おこし協力隊をこの3月で任期満了となり、その後も瀬戸地域に居住のプロカメラマン高田望さんをお願いしてお気に入りの凧と記念写真を写してもらう「のんちゃんの写真コーナー」を設けていましたが、宣伝不足で、2組だけの利用でした。学年別にも記念写真を撮ってもらいました。とても良い写真が出来上がりました。これからも、カメラを抱えたお姉さんを目にすることがあると思いますが、気軽に声をかけてください。カメラを抱えたおばさんもありますが、若い人が高田さんです。よろしくお願いします。

凧展開催 小学校の凧と鬼だこクラブや凧好きな人が描いた凧数点を
芦辺港ターミナルの2階に展示します。

4月23日(日)～5月7日(日)



19名全員集合！3年生

写真 高田 望 (フォトグラファー)

ゴミ棄てはルールを守りましょう

3月末、スプレー缶が何本もレジ袋にいれたまま、ある公民館のゴミステーションに捨てられていた写真(右の写真)を見せられました。その後、レジ袋に入った可燃ごみもすてられていたそうです。このようなことは以前もあり、公民館も苦慮しているので、ルールを守るように周知してもらいたいと依頼をされました。壱岐市の家庭ゴミ出しルールブックから分別の仕方等を少しずつ取り上げて掲載しますので、ゴミ出しのきまりについて再確認をお願いします。ちなみに、「スプレー缶はガスを完全に抜く、中のものを使いきること、**危険ですので穴をあける必要はありません。**」と書いてあります。



(後日、きれいに分別されていたそうです)

ゴミ出し 分別の種類

	空缶類
	プラスチック類
	廃食用油
	布類
	可燃物類
	粗大ごみ

	空ビン類
	有害物質類
	古紙類
	不燃物類
	処理しない物

9 不燃物類 金属類・ガラス・陶器類

◎金属類として収集するもの

◎金属類

●スプレー缶
※ガスを完全に抜く
中のものを使いきること。
※危険です。穴をあける
必要はありません。

- 傘
- なべ
- やかん
- かま
- フライパン

- 使い捨てライター
- ドライヤー
- 時計
- 電気カミソリなど

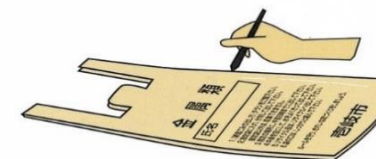


◎出し方ルール 金属類

「金属類」の指定袋を
使用して下さい。

袋には名前を書いて下さい。
居住地区に○をして下さい。
無記名は収集しません。

なべ、やかん、かまは、
よこれを落として
出して下さい。



●袋は、結ぶ箇所を必ず結んで出して下さい。
ひもで結んだり、ガムテープ等を貼って
出された物は収集しません。



指定袋に入らないものは、
粗大ごみとなります。



不分別・リサイクル缶
が入っていた場合収
集しません。

注意

※刃物・包丁などの鋭利な物は、必ず紙に包んで出して下さい。

将棋対局戦をしました

昨年、夏休みに将棋教室を開催しましたが、箱崎も11月から教室が始まり、講師でもある町田会長の案で、瀬戸・箱崎の対局戦をすることになりました。2月には顔合わせを兼ね、箱崎の教室に瀬戸小の児童も10名参加しましたが、仲良くなるのも早くて安心しました。3月22日に対局戦を実施しましたが、最終的には、箱崎小寺田さんと瀬戸小立山さんの決勝戦になりました。準決勝が思ったより慎重なゲーム展開となり時間がなくなってしまい決勝は5月の箱崎の教室で行うことになりました。今年も将棋教室を予定しています。子どもは覚えが早いので、初めての人も大歓迎です。



4月15日(土) 鯉のぼりの設置作業を行いました。

今年は、100円ショップで買った小さな鯉が100匹ほど加入し、大左右川の上二列になり泳いでいます。※5月連休明けまで



今年も鯉がおよいでいます！



終戦後

プレイバック写真



奉納相撲大会 都々和野の高台 写真は芦辺町閉庁記念誌より

志岐神社・志岐護国神社
奉納相撲

祭神 亀山天皇 後宇多天皇 少式資時 郡内英霊
祭日 5月21日 昭和60年頃は4月21日
(現在は4月第3日曜日)

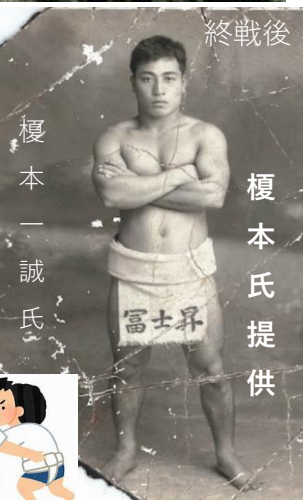
毎年4月の大祭日には、相撲大会が開催されていました。昭和30年代から40年代後半ごろは青年団主催で開催されていたように記憶しています。女子団員はうどん、ぜんざいのバザーをしていました。その後、小学校児童だけの相撲大会

昭和35年頃



白石政司氏提供

が行なわれていましたが、いつのまにか行われなくなりました。



終戦後

榎本氏提供



とっしゃんのひとりごと



去年、6月に収穫するはずだった玉ねぎ、いつまでたっても「らんきゅう」ほどの大きさから太らず、葉は白くなったり黒い点々ができたり、いわゆる玉ねぎの伝染病「ベト病」にかかってしまいました。薬をかけたらかち言われ、薬を買うたばってん、農薬をかけちまで食べとうなかけん使いませんでした。収穫はゼロ。懲りずに今年も250苗植えました。何回か草取りもしましたが暖くなり雨も降ったら畝だけでなく、マルチの中からも草はぼうぼう出てきています。なんのためにマルチをかぶせたのかわからんごとなりました。くりぶいての草取りはやおいかんばってん草に埋もれたら玉ねぎは育たんけん、腰が痛うなったら「またけ整骨院」に通い、せっせと草とりに励んでいます。

